

平成30年度 研究助成の成果論文表彰制度による受賞者の決定

公益財団法人生命保険文化センター（代表理事・鈴木勝康）では、平成30年度の「研究助成の成果論文表彰制度」（※）による受賞者を下記のとおり決定いたしました。

本年9月3日に経団連会館にて表彰式及び受賞者報告会が開催されます。

（※）当センターでは、平成13年度から毎年、若手研究者の生命保険及びこれに関連する研究を支援するため、助成金による研究助成を行い、その研究成果である成果論文を、当センターが発行する「生命保険論集」に掲載しております。平成21年度より、研究助成に対する関心及び研究水準のより一層の向上を目的に、本成果論文を対象とした表彰制度を実施しています。詳しくは当センターのホームページ（<http://www.jili.or.jp/>）をご覧ください。

記

【平成30年度の受賞者と受賞論文】

・最優秀論文賞： 該当者なし

・優秀論文賞： 該当者なし

・研究奨励賞： 該当者2名

受賞者 坂井 晃介氏（東京大学大学院総合文化研究科国際社会科学専攻博士課程）

受賞論文 保険の歴史社会学的考察にむけて－19世紀ドイツにおける進展を事例に－

（「生命保険論集」No.201, 2017年12月）

受賞者 佐々木 博之氏（早稲田大学大学院商学研究科博士後期課程）

受賞論文 保有契約高と新契約高のアスピレーション・レベルへの未達が資産運用でのリスクテイキングに与える影響－企業行動理論からのアプローチ－

（「生命保険論集」No.201, 2017年12月）

以上

本件に関するお問い合わせ先 〒100-0005 千代田区丸の内3-4-1 公益財団法人 生命保険文化センター 保険研究室 研究助成係 (TEL: 03-5220-8512)
